

働く意義(働くとはどういうことか)を考える

—仕事をするときに心掛けること—

経済同友会 幹事
林 明 夫

Q1 : はじめに、自己紹介を兼ねて好きな言葉を教えてください

- (1) 「ブルドッグ魂」—食いついたら離すな
- (2) 「練習で泣いて試合で笑え」
- (3) 「一所懸命」—一つの所で命を懸けるくらい熱心に取り組む—
- (4) 「スポーツの3つの宝」(小泉信三先生)
 - ① 「練習は不可能を可能にする」
 - ② 「フェアプレー」
 - ③ 「よき友」



Q2 : どのような仕事や活動をしていますか

- A : (1) 開倫塾 塾長 (栃木県、群馬県、茨城県の学習塾)
(2) 有朋高等学院 理事長(福島市)
(3) 宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授
(4) マニー株式会社 顧問 元社外取締役(手術用縫合針製造)
本社：宇都宮市。現地法人：ハノイ、ヤンゴン、ビエンチャン
(5) 特別養護老人ホーム清明苑 理事(足利市)
(6) 経済同友会、サービス産業国際化推進プロジェクトチーム、アジア委員会、中国委員会、米州委員会、欧州・ロシア委員会、アフリカ委員会など委員
(7) 開倫ユネスコ協会 会長(人間の安全保障の推進)
(8) CRT ラジオ栃木放送「開倫塾の時間—林明夫の歩きながら考える」担当、毎週土曜日 9:15～9:25 27年目
(9) 「足利5S学校」役員、足利商工会議所 議員



Q3 : 仕事とは何ですか。働くとはどういうことですか

- A : (1) 仕事とはお客様の問題解決
(2) お客様の問題解決をして、お客様のお役に立つこと
(3) お客様のお役に立つことで、社会のお役に立つこと
(4) すべての仕事には社会的な意味、社会的な使命がある



Q 4 : 人は何のために働くのですか

- A : (1) お客様のお役に立つため
 (2) お客様のお役に立つことで、社会のお役に立つため
 (3) 社会的な使命を果たすため
 (4) 生活できるだけの収入を得るため
 (5) よく生きるため

Q 5 : 仕事をするときに心掛けることは何ですか

- A : (1) お客様の問題は何かを知ること
 (2) お客様の問題をどのように解決したらよいかを考え、実行に移すこと
 (3) そのために「計画」(Plan プラン)→「実行」(Do ドウ)→「検証」(Check チェック)→「修正」(Action アクション)すること
 (4) メモ・ノートを取り活用し続けること
 (5) 「5S(ごえす)」を身に着けること
- ① 「整理」(seiri) 要らないものを捨てること
 - ② 「清掃」(seisou) きれいに掃除をすること
 - ③ 「整頓」(seiton) ものは決まったところに置き、サッと取り出せるようにすること
 - ④ 「清潔」(seiketsu) ①～③の状態を保つこと
 - ⑤ 「躰」(shituke) 人に言われなくても自主的に行うこと



Q 6 : 学校の教科の勉強は社会に出て役に立つのですか。学校の教科以外の活動は社会に出て役に立つのですか

- A : (1) 学校で習うすべての教科はすべて役に立ちます。一生役に立ちます。
 役に立たないことは一つもありません
- (2) 学校での活動は社会に出てすべて役に立ちます。一生役に立ちます。
 役に立たないことは一つもありません
- (3) ですから、学校の教科書は学校を卒業しても絶対に処分しないこと。
 教科書は、一生身近に置いて時々読み直してくださいね



Q 7 : これからの社会はどのような社会ですか。そこで求められるのはどのような能力ですか

- A : (1) 「知識基盤社会」 — 「知識・情報・技術をうまく組み合わせて用いる能力」
 (2) 「グローバル化社会」 — 「多様な集団で行動できる能力」
 (3) 「課題山積社会」 — 「自律的に活動する能力」



Q 8 : 学力の高い人はどのような人ですか

A : (1) 「学習の方法」、「自己学習能力」を身に付けている人

①辞書の使い方 ②予習の仕方 ③授業の受け方 ④ノートの取り方・ノートの整理の仕方

⑤「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」の仕方

⑥「試験の受け方」、⑦図書館の活用の仕方

(2) 「読書による思慮深さ」を身に付けている人

(3) 新聞を毎日読み、自分で考える力、批判的思考能力を身に付けている人

* 「高い志」をもち、「自覚をもって学ぶ」ことが大切です



Q 9 : 最後にお聞きします。人は何のために勉強するのですか。勉強すると人や社会はどうなるのですか

A : (1) 人はなぜ勉強するのか。「よく生きるため」だと考えます

(2) 学力が身に着けば身に着くほど、「多様な選択肢のある人生」を歩むことができます

(3) これが、「人生の成功」「成功の実現」と考えます

(4) 学力が身に着いた人が多ければ多いほど、「正常に機能する社会」「持続可能な社会」になります

(5) 人は「自分のため」「社会のため」に勉強するのだと考えます。

皆様はどのようにお考えですか

(6) 「教育ある人とは(一生)学び続ける人」(ドラッカー先生)

(7) 「一生勉強、一生青春」(相田みつを先生)



以上

